


ICT 学習支援教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	青森県立八戸聾	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input checked="" type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	発表しよう		
	単元(題材)の目標	スライドを作成し、係の仕事内容や紹介したい本を、集会で発表することができる。		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	3 年 1 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	※個別学習の場合は、個人の本単元（題材）における主な実態を端的に記入する。 知的障害代替教育課程小学部3年生1名。国語・算数は、2年上の教科書を使用。 iPadを使った学習に意欲的で、操作をすぐに覚え、活用しようとする。 教師と一緒に作成した発表原稿を大まかに覚え、集会で発表することができる。		
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称	※使用した ICT 機器（入出力支援装置等）名を記入する。 iPad、ApplePencil、AppleTV、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	※使用したアプリケーション名を記入する。 Keynote		アプリマーク 
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニケーション支援 <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input type="checkbox"/> 教科学習支援 <input type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援)		
	ICT活用のねらい	コミュニケーションモードの異なる児童に写真や文字で発表内容を伝える。 スライド作成をしながら発表内容を整理する。		
活用の状況と支援	※ICT 活用場面と行った支援について記入する。 ・Keynote の発表用のスライドに、撮った写真や、ApplePencil で手書き文字を書き入れた吹き出しを挿入した。アプリ内のボタン操作や写真の配置、大きさの調整の仕方などを教師と一緒にを行うと、すぐに覚え、教師の支援を受けながらスライド作成できるようになった。また、児童に書き入れたい言葉を話させて、教師が文章表現を児童と確認したものを板書し、スライドに正しい文章を書き入れるようにした。			